

# 車バイバルが目指すもの

一般社団法人72時間サバイバル教育協会

代表理事 片山 誠

片山 誠（カタサン）  
(株)ココロ 代表取締役  
(一社)72時間サバイバル教育協会  
代表理事

固定観念にとらわれずに自ら考えて行動  
できる自助共助の力を持った人を増やし、  
助け合いの社会を創るために全国で講  
習・講演活動中。  
4泊5日の無人島サバイバル研修などユ  
ニークな研修も数多く行う。

著書「もしときサバイバル術Jr」  
「車バイバル！」  
監修「目指せ！災害サバイバルマスター」



# SHA-VIVAL 車<sup>シャ</sup>バイバル!

自分で考え、動くための防災BOOK



著：片山 誠

[72時間サバイバル教育協会]

監修：石川 真禧照

[自動車生活探検家]

KETTLE

## 車中泊のメリット

- ・プライバシー保護、防犯
- ・空調管理が出来る
- ・コロナ対策

## 車中泊のデメリット

- エコノミークラス症候群
- 家族が多いと狭い
- 公助の把握がしにくい

車中泊で自己完結する

車中泊については、いろんな人が  
いろんなところで発信しています

では現状は？



# 防災教育の根本的な問題

- ・自分事化していない
  - ・頭でっかち
- ・何とかなると思っている
- ・頭の片隅から消えていく
- ・モチベーションが上がらない

- ・自分事化していない

自分には災害は来ないだろう  
これまでに災害に遭ったことがない  
見たり知ったりする経験がない

・頭でっかち

座学で学んだだけで満足  
映像やネットなどの情報に頼る  
現場を見たことがない

・何とかかなると思っている

備蓄をしている

1日2日くらいなら

そんなに大きな災害はこない

- ・頭の片隅から消えていく

講習会に参加した後の意識  
他にやることがいっぱい  
行動変容につながっていない

・モチベーションが上がらない

怖いし考えたくない

おもしろくない

参加義務でしぶしぶ

体験学習プログラムで解決



体験をすると想像していたことと  
違うことがよく起こる

・車バイバルで知れること

一夜を過ごす  
と課題が見える  
自分の車で避難できるか  
どんなモノが必要か

体験を通じて、事実を知り、  
自分で考えて、判断すること

体験をした後に  
興味を持ち続け、行動する

# コンソーシアムとしての役割

車バイバルの知識のない避難者に  
場所を提供するとどうなるか考える

かと言って慎重になり閉ざすのは  
地域にとってはマイナス

教育機関だからこそ出来る  
学習活動を考えてみる



もちろんワクワクする形で！

学生の皆さんの知恵も借りて  
共に学ぶプログラムの構築

# 目指すゴールの整理

ただ車で避難をして助かる人を  
増やしたいわけではない

一人ひとりが自助力を身につけ、  
弱者に優しい助け合いの社会

自助力を身につける

||

それだけでも社会貢献

# 防災も含めて助け合いで解決

様々な社会課題＝自己責任では解決しない

分断

犯罪

教育格差

貧困

高齢化

防災

ご清聴ありがとうございました